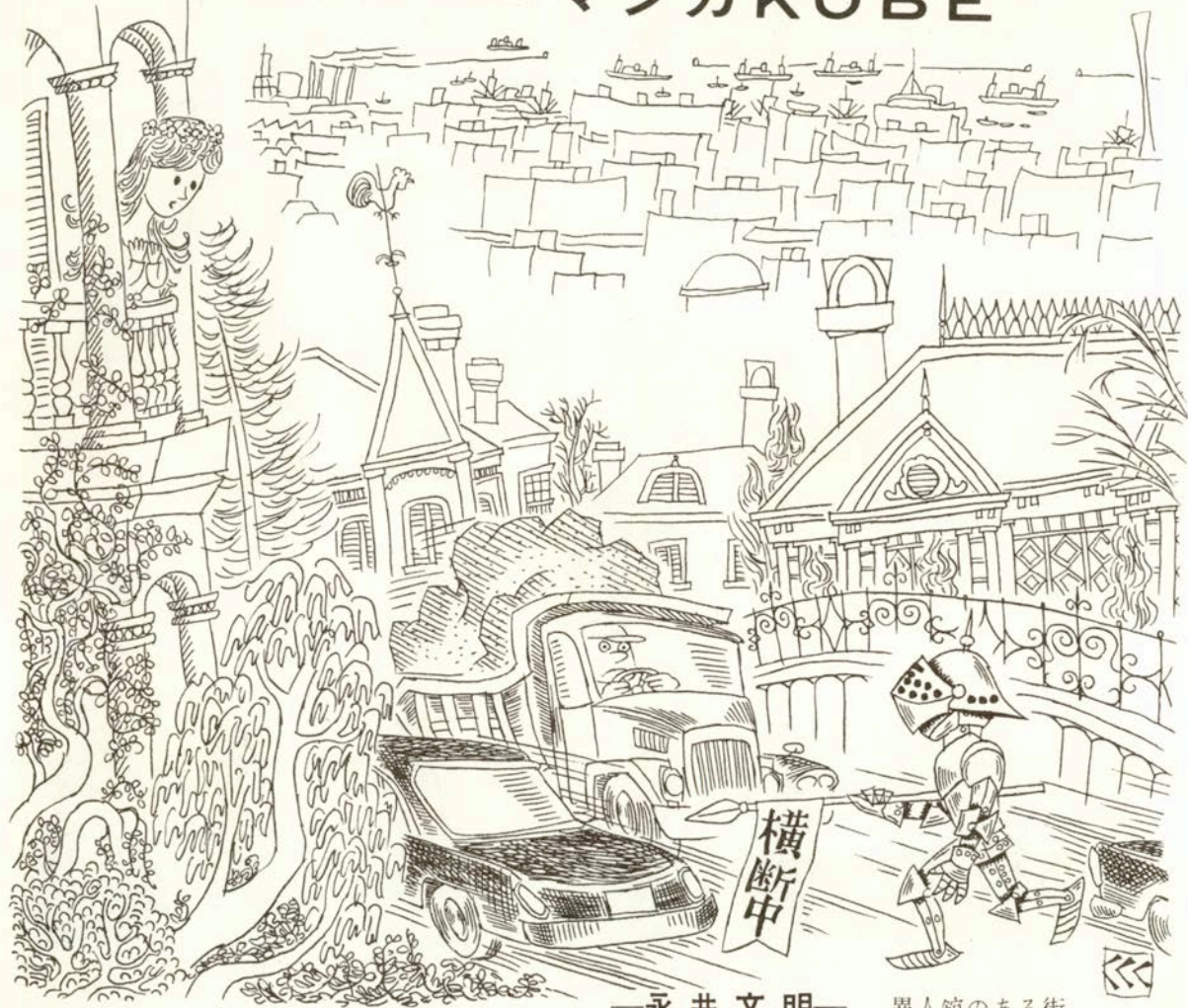
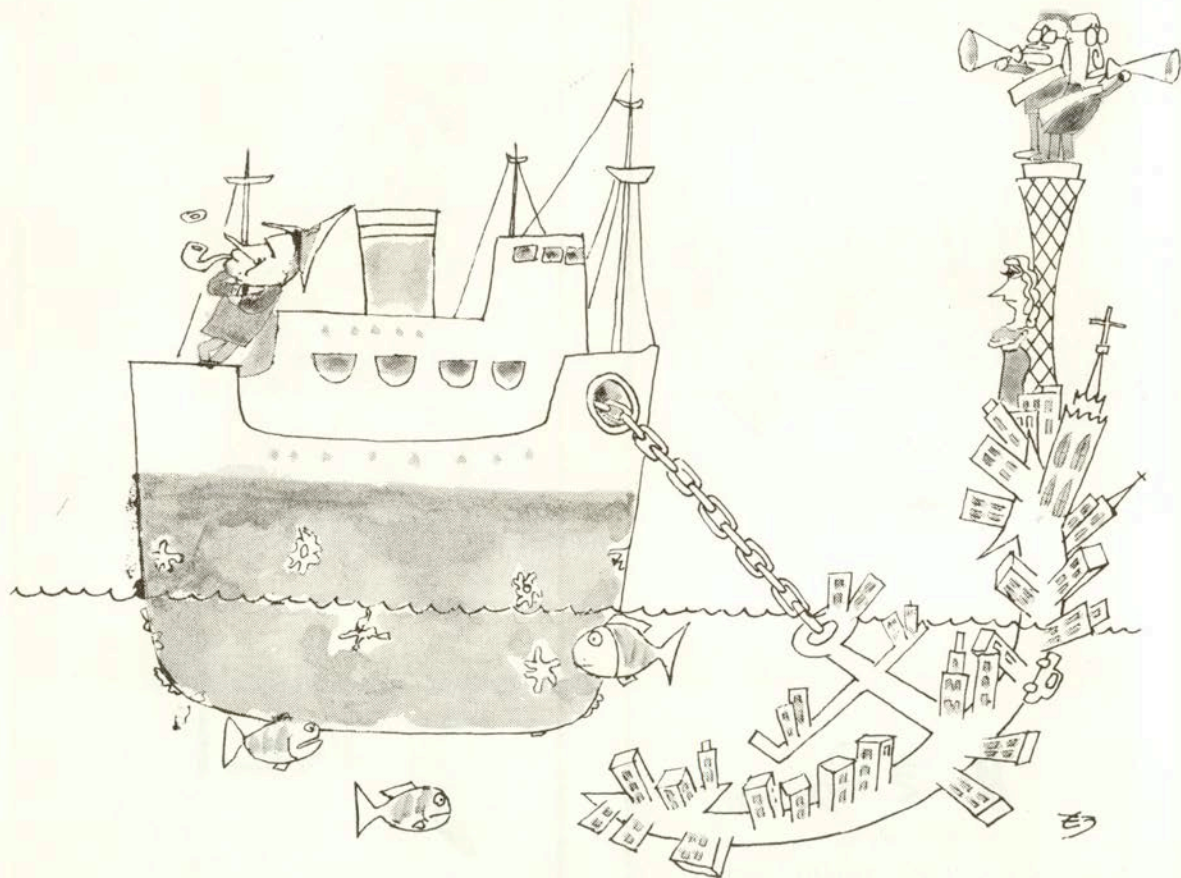


マンガ特集〈1〉マンガ3題 **マンガKOBÉ**



—永井文明— 異人館のある街





不景気なみなと街
—たかはし・もう—

Akira Beauty Shop



美容室

あきら

西野 明

電話予約制

三宮本通り TEL (33) 4461・6458



KOBEの
センスを生かす
KEIの店

*服飾

KEI の店

生田区三宮町3丁目57
大丸前服部宝生眼鏡店2階

TEL (33) 7550

マンガ家のみたコウベという町



★買物はまず神戸で

——今日は漫画家のみなさんにお集まりいただき、ざっくばらんに神戸についていろいろとお話いただきたいと思います。

高橋さんは神戸に何年ぐらいいらっしゃるんですか。

高橋 神戸で十一年ぐらいになりますねえ、それでもあまり神戸を知らんいうとおかしいでしょうかねえ(笑)もう十年選手になつてんですが、それが皆目わからんですわ。

——春山さんはどのくらいお住いですか。

春山 ほくは神戸っ子です。家の方は京都からこちらに来たらしいんですが、もう三十年から四十年になりますね。ほくは神戸で生まれて、ずっと今の北野町のところにあります。

田中 ほくは芦屋に住んでいます。が神戸は時どき来る程度ですね。

福永さんも大体大阪ですか？

福永 ええ、伊丹に住んでいますから、めったに来る機会がないですわねえ。どうしても大阪の方へ行ってしまう(笑)

——仕事場のかげんでですか？

福永 ええ、兵庫県は寝るだけで(笑)まあ、お仕事があれば神戸に来ますが……。それに買物をするというよりステキな人をながめに行くのが良いですね(笑)異国の人がたくさんいて、そんな意味で元町なんかへ行きます。でも六甲山にはよく登るんですよ。

高橋 それは、大阪の商店街へ行くよりも神戸の商店街へ行った方がええいうていわなかんわ。

福永 そうねえ(笑)

田中 大阪と同じものを売ってる



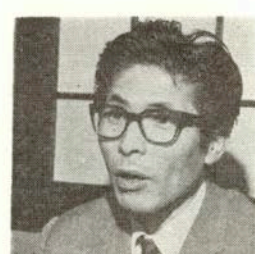
田中 晋一
(漫画家)



福永 道子
(漫画家・大阪企画KK)



春山 正
(漫画家)



高橋 猛
(漫画家・神戸新聞社専門調査報道室)

けど神戸の方がよう見えるねえ……。福永さん、こういうぐあいにはわねあかんよ(笑)

高橋 ぼくの従兄が大阪に來とったですが、奥さんなんかほとんど買物いうと神戸へ来てましたわ。

春山 スーパーマーケットなんかでもマイクで、芦屋の誰だれさんというて呼んでますよ(笑)

★ボロをまとしてクツだけが光ってる

——神戸も「さんちか」ができ、ビルもどんだん建ち、相当かわりましたがいかがですか？

春山 大阪から梅田地下を通って電車に乗って帰って来ても、なんや同じような地下街でこっちへ帰って来たという感じがしないですねえ。電車の中でぐすり寝るから(笑)

福永 でも神戸の地下街には坂があるでしょう。

高橋 酔っぱらって帰って来てもああ坂があるから神戸やノいうてなあ(笑)

春山 まだ新しくて方向がはつきりせんからよけいそう感じますね高橋 でも「さんちか」ができたけど上と下がごつちうちがうでしょう。なんかこう上はいい加減で、クツだけが光つとう感じやねえ。かといつてまだビルが建つんやろけどあんまり建ててもらいたくないですなあ。

春山 昔は神戸の町歩いてると、町中でも港の船が見えたけど、この頃はビルがどんだん建つんで船があんまり見えなくなつたいう声がありますねえ。

田中 でもそれは仕方がないでしょう。まあ見たいい人はなんぼでも

近くに山がありますし。高橋 なんかもうこれ以上、いろいろ建ててもらいたくないですねえ。

春山 地下は堀りやすいんやないの？ 上に建てるよりどんだん地下へのばしていったらいい。

高橋 私は恥かしいけど、まだポイントタワーに上ったことないんやけど県庁の屋上に上った方が高い

神戸の坂は美容にヨロシイ……



福永 道子

んとちがうか？

春山 こないだ初めて仕事の関係で上ったけど、ポイントタワーは真下を見て車や人が小そう見えるいうところに面白さがある。

高橋 でも県庁の屋上の方がええポイントタワーがちよつと下に見えるし、あそこはタダや……(笑)

★ホルモン料理今夜に合う!?

——大阪と神戸の違いとか面白さというのはどういうところですか春山 どつちも港を持っているけれど、大阪港いうと町の一部いう感じでしよう。神戸は港の中に町がひびついているという感じがですねえ。そやからなんや皆が船乗りみたいな感じだね。

田中 歩いていても適当に外人がいてね。それに売ってるものでもなんでもがなんやちよつと上等に見えるでねえ(笑)

春山 大阪あたりやとインド人なんか通ると必ず皆振り返って見ますねえ。ああカレーのサンドイッチマンが歩いてるいうて(笑)

神戸は外人に慣れているせいか、じつと見ないですねえ。

高橋 私ら、大阪いうたらソロバンの音ばかりが聞こえるような気がしますわ。

春山 大阪は良く知らんけどいわゆる庶民的というんですかねえ。

福永 カンバンでもそのものズバリですが、神戸は何となくジャレているという感じがですねえ。

南のエビヤさんなんかへ行っても大きな作りのもののエビが置いてあって動くようになってるんですが、ものすごくグロテスクなんです(笑)

高橋 神戸はスマートで、奇抜なものがないねえ。

田中 なんかつかつかない感じがでねえ、ちよつと大阪的な気安さというの、ないなあ。

大阪なんかホルモン料理屋のカンバンに、今夜に間に合う」と描いたりねえ(笑)

高橋 私も三年ほど大阪へ通つたけど帰って来る時なんか、西宮あたりでホツとしますなあ。

田中 武庫川を越えたら空気が変わるいうんかホツとしますね。

高橋 とにかく神戸で住んで大阪で働くというのが良いんじゃないですかねえ。

春山 大阪へ仕事で行っても早よ帰りたいですね。

田中 家でなくても市内へね(笑)春山 家へ帰るのは明くる日の朝になるかもわからへんけど(爆笑)

★今はオシリの大きいのが流行ってる!?

福永 神戸は大阪に比べたら車は少ないですねえ。

高橋 ま、悪ういうたら田舎やねとは、いうものの捨てがたい独特のムードがあるし、そこが神戸の好きなのとこなんやね。

田中 一流の商店街やのに自動車が入って来てね、そんなのをみたら田舎くさいし、かと思たら横にモダンな家があったりねえ。

春山 福永さん、自動車を持ってたのに何で売ったん?

福永 美容と健康のためです。自動車に乗ってるとすごく太るんです(笑) それと経済的な理由と……(笑)

高橋 それにやっぱりオシリが大きくなるということ。

田中 それと「ジ」になる(笑)高橋 今はオシリの大きいのが流行ってるんじゃないですか?

春山 大根足は健康的な足やいうて流行っとるねえ。

福永 神戸って坂道が多くって。上ったり下ったりが激しいからよく太った人なんかには良いんじゃないですか(笑) スマートにな……

春山 じゃあ、神戸に住んでいる

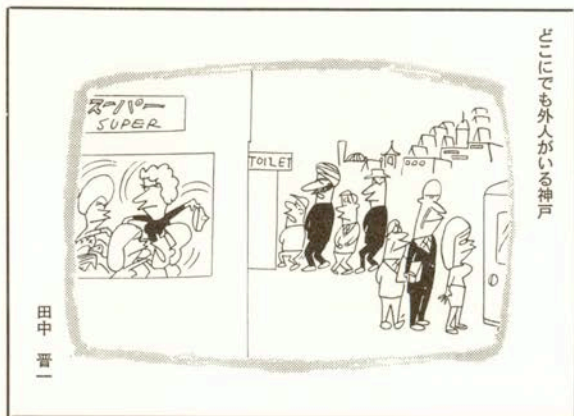
人はスマートフォンだというわけですか
高橋 そうでもないな(爆笑)

★神戸のアベックは
台風よりシヨック

高橋 「都市」になるとどこもほとんど変わらんけど、神戸は何となく静かで田舎的で、それでさみしそうなものがありますねえ。

外人の船乗りなんか飲み屋で

どこにでも外人がいる神戸



田中 晋一

もスミの方でさみしそうに飲んでますよ。大阪あたりだとめずらしかって寄っていくだらうけどねえ。良いですねあ、あの船乗りのさみしそうなのが……(笑)

非常にロマンチックなムードがあって好きやねえ。あんまり発展してこの町とも同じようなものになってほしくないなあ。

春山 良い意味での田舎であって

ほしいというわけや。

福永 アベックで歩いたことないけどね(笑)

高橋 田舎はうるさいよ(笑)

神戸は狭いからねえ、どこかで知った人に会いやるわけや、飲み歩いても明るる日に行動がみなわかってしまう(笑)。その点、大阪やったらわからへんでしょう?

田中 そんなわからへんねえ、北と南に分れたらちよつとわからへんわ。

春山 神戸は細長いから、行くいうたら横へしかない。

でもこの頃は堂々と手をつないで歩いてますし、そういう意味では洗練されてきましたよ。

福永 大阪だったら、なんかせかせかしてるし、恋人が出来たら神戸へ来てゆっくり歩こうかな。

高橋 そのかわり私に見つかったらうるさいよ(笑)

春山 東京の皇居前広場とか大阪の扇町、中之島のような、ああいうところは神戸にないですねえ。

だいたいどこでも大っぴらにやってるから(笑)

田中 こないだの台風の時に須磨浦公園で木がたおれて、視察の人が見回りに行ったら、ちょうどカゲにベンチがあってアベックが座

つとってね、視察の人はホウホウの態で帰って来たいいう話を聞きましたわ。

高橋 それあ、台風より強いシヨックを受けたやろうねえ(笑)

春山 そんなん神戸のアベックでなしに大阪あたりから遠征して来ようアベックちがうか?

田中 そのかわり神戸のアベックが大阪へ行きよる(笑)

大阪での話やけどアベックがハン

カチ敷いて座るでしょう。ところが帰りがけに忘れていきよるんですが、そのハンカチを拾う集めてきれいにして売りよるのがあるらしいですわ(笑)

高橋 それは又、大阪らしい話やねえ(笑)

田中 一日五十枚ぐらい集まるらしいですね。釜ヶ崎なんかでもケンカが始まったら石を売るもんが出るという話もありますもんねえ(笑)

高橋 大阪的な話やいうたらおこられるかもしれないけど神戸の人間はそこまで考えられんいうのか、のんびりしたところがありますねえ。そこまで考えたくもないけどなんかもうちょっときびしさがないといかん。

福永 刺激が少ない……。

高橋 刺激があるから良えかというと思ふし、良えとはいえないわねえ。東京なんか大阪よりまだひどいけどあれじゃあ自分というものを考える暇がないわ。

福永 だから神戸なんかは、のんびりと漫画のアイデアなんかを考えるのに良い(笑)

春山 反対にのんびりしすぎて、何も出てこなかったりして(笑)

★関西マンガ：もうかりまっか？

——この頃、関西喜劇なんかで売りに出しますが漫画の方はいかがですか？

田中 戦後で、関西出身者という五・六人ですかねえ、戦前の人を加えるとまだいます。

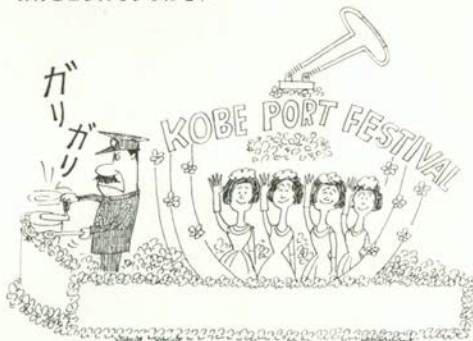
高橋 東京落語とか関西落語とかそれに漫才なんかはありますが、漫画にはそういう違いは無いんじゃないですかねえ。ことさらに出

そうと思たらなんやみられへんねえ。俺も考えたことあるんやけどやっぱり言葉の面白さやないんですかねえ。

田中 説明文はやっぱり標準語で書くからねえ。関西弁で書くとな西の漫画いうことになるのかもわからんけど……。

高橋 むづかしい問題やねえ。言葉だけ変えたら関西の味が出るか

切符をとられそうな花電車



たかはし・もう

というところでもないしねえ。やっぱり土壌っていうのか、漫画には歴史が浅いしそない関西からつかわれたっていうのは今までないからねえ。漫才や落語のように言葉のニュアンスによって表現する面白さというのと性質が違うからねえ。

福永 でも、なんとなくっていうもんがあるんじゃないですか？

高橋 ま、ドロ臭さというかねえ。関西の人が書く味というものが出てくるかもしれないですがねえ。

関西漫画ノいうてパット出したらええやないかい人いますけど、それをぱっきり特徴づけて打ち出したいたしたいもんやろけどなあ。

田中 それは考える必要大いにあるですね。

春山 ちょっとむづかしいですねえ。

高橋 関西弁でちょっと出してる人がいるけど、なんやあんまりやるとつてつけたようになるしなあ。もうかりまっか？というような感じの漫画が出来たいたしたいもんやけどねえ(笑)

——神戸は漫画になりますか？

春山 あんまり知らんけど、大阪より神戸の方が漫画になりやすいんじゃないですか？

田中 私なんかやっぱり題材は大阪ですねえ、神戸は純美術の人が多いですねえ。

高橋 神戸はすごく明るい感じで海あり山ありでねえ。絵描きなんか素材が多いんじゃないですか……。

★ミナト神戸は女でもつ

——神戸の女性について一言。

高橋 神戸の女性、こりやあ良いですなあ。

福永 見た感じが良いの？それとも付き合ってみて良いんですか？

高橋 いや、どっちも良いですなあ(笑)

——どう良いですか？

高橋 そやねえ、どこが良えかいわれてもちょっとわからんなあ。

田中 わからんところが良え(笑)

ボン・パリ



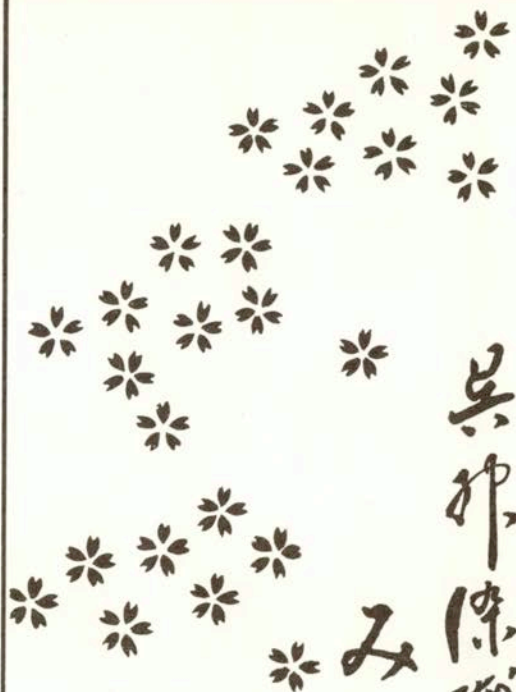
何から何まで
渋好みのパリッ子

ボン・パリーは洋菓子の
本場フランスの味です
ブドーと洋酒を上品に、
ミックスした風味あるお
菓子です



アルモンド

本 店 神戸市生田区元町通2の43
直売所 神戸大丸・新聞会館秀品店
本店TEL 332203



呉那陳磯

みよーや

電話 神戸 333889 九番
大阪 店 阪神百貨店三階
電話 大阪 660 5548 番
姫路店 やまとやしき百貨店三階
電話 姫路 23 1121 番
衣裳部 三宮町三丁目柳筋
電話 33 5165 番



* ボールのえらび方

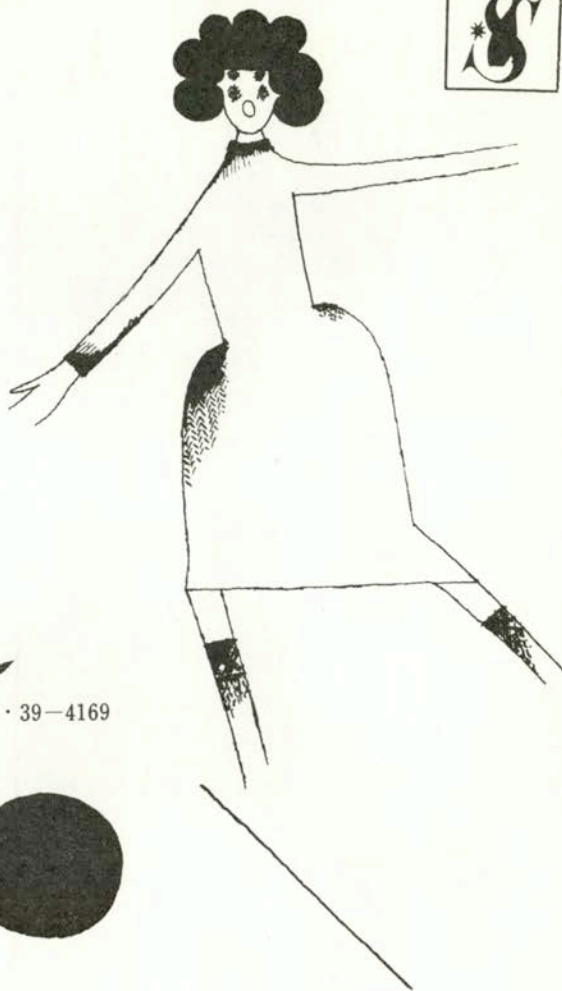
重さは10ポンド～16ポンドまでであり一般的には——10ポンド～13ポンドまでを 女性用

14ポンド～16ポンドまでを 男性用

とされていますが各自体力に適した重さのボール、体重の10分の1位が良いと云われています。ボールには3つの穴があいています(親指、中指、クスリ指)。親指は穴に深く入れて手を左右に廻わしてみてもキツすぎたり、ゆるすぎたりしないものを選びます。そのまま中指、クスリ指の上にかぶせてみて、中指、クスリ指の第2関節がちょうど穴の中心より少し手前にある位のものを選びます。

ジャベスターレーン

神戸市生田区江戸町95(花時計西側) TEL・39-4169



高橋 去年オリビックで東京へ行った時、丸の内までボサツと立って一時間ぐらい女性を見とったんですが(笑)そう、やっぱり神戸の女性の方が良え。

春山 帰って来た時、まっ先に言いよったなあ(笑)でも、神戸の女性って底ぬけに明るいというようなところがありますねえ、ええい邪魔くさい、云うてしまえというようなところがねえ(笑)

高橋 神戸の女性は強いと思うなあ、根性がある。その点、男はあかんわ……(笑)そう、女で持つてゐるような気がする。

田中 ミナト神戸は女でもつ(笑)高橋 とにかくなんやわからんけど神戸の女性はド根性というか、強さがあるなあ、特にぼくは女に弱いから(笑)

福永 いつも奥さんにいじめられてるんじゃないの?

高橋 いや、ぼくはワマンのつもりでおるんですよ(笑)

田中 そんなこというて(耳もとで)ホレ、後に奥さん来てで……(爆笑)今、ちよつと青うなつた(笑)

★花電車の車掌

切符とりそうやでえ!

——神戸に対して、こんなことをやると面白いというような提案はないですか?

田中 田中さんなんか、大阪にいらして神戸を見るとどうですか?

田中 今、川底を走ってるダンパカーの道路とかコンベアで山の土を運び出すとかやっていますが、あれは漫画的ですねえ。でも、川底を走ってる運ちゃんが上を見あげたらながめが良えとか(笑)女

性はあそこを歩く時、気をつけた方が良いでしょう。

——人工島を造るという話が進んでいますがいかがですか?

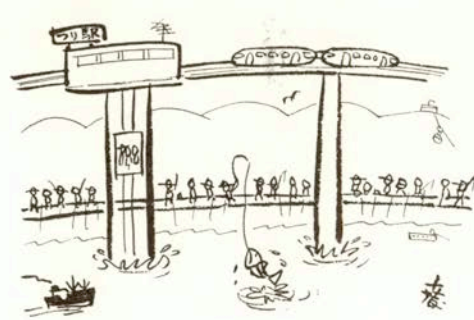
高橋 また、税金が高うなりよる。

春山 まさか、ゴミを持っていくんやないやろねえ。

高橋 あれは、「夢の島」や(笑)

福永 この間飛行機で琵琶湖から六甲山、淡路島の上空を飛びまし

神戸も太公望が激増して来ました



春山 正

たが、神戸の港なんかでも、ものすごい空気が悪いですねえ。でも六甲山なんかにしても、空から見るときれいですねえ。

高橋 船が入って来るときなんか山から見てもきれいですよ。

福永 六甲山からは夜景がきれいですねえ、今、何万ドルですか。

高橋 百万ドルやったけど、今一千万ドルに値上ったるですわ。

ひんく・こおなあ



十八世紀の希代の色事師カサノバ・ド・サンガルが現代に現われたらどういふことになるかというのが「ゴールデン・ハンター」(原名「一九七〇年のカサノバ」)という映画です。ところが現代のカサノバ氏はからっきし元気がなく、なにか冒険や刺激が起これないといふ方がいふことをきかないカサノバがこれを見たら「なんたる醜態か」と怒りだすに違いありません。

カサノバの恋愛遍歴は十歳のときにはじまり、ホコをおさめたのは六十歳を越えてからでした。その間恋した女の数はいくらに上ったか「回想録」を読んで計算してもらいより仕方がない。またその足跡はトルコにはじまり、イタリアの各都市、スイス、オランダ、ドイツからモスクワにも及んでいます。

アンリ・ド・レニエの「生ける過去」の主人公は、大のカサノバ、ファンで、彼がイタリアの諸都市を荒らしまわったコースをたどって大旅行をこころみています。このアイデアはなかなかよろしい。世の中には「文学散歩」とかいって、お上品な旅もあるようですが、そんなものよりも、一度「カサノバ・コース」をはやらせてはいかがか。そして男性の元気をとり戻そうではないか。(T)

田中 税金が上ったり物価が上ったりしてゐるからねえ(笑)

——今年はみなと祭は中止になりましたが、みなと祭に対しての意見なんかはないですか。

高橋 みなと祭で感じるんやけど、時期的にもうちよつと暑い時にやれるように日を変えたら良えと思うなあ、そろそろ木の葉が落ちる頃にみなと祭でしよう。みなと祭、いうたら感じは水やねえ。みなと祭を秋祭のような感じにするのはどうですかねえ。

田中 感じは六月頃やねえ。

春山 ア波踊りのようなものと性質がちがうし別に十月でもかまへんでしょう。

——神戸にア波踊りのようなものはどうですか？

高橋 神戸踊りか……。

田中 カーニバル的なものが良いですなあ。

春山 神戸には、いろんな人種がいるわけやし、カーニバルなんか良えかもわからんですなあ。

高橋 みなと祭で思い出したけど花電車の運転手の服装ねえ、ピエロみたいな服装でも良えからなとかしらええのにねえ。普段の制服を着とって全然センスあらへん。

春山 ひき立て役をやつとるんとかがうの。

高橋 そんなことないよ、全然あかんわ。

田中 そしたらサルにでもさすか(笑)

高橋 別にでも服を作つたらええのに普段の運転手の服装でなんや切符を取りそうな感じでねえ(笑)

★海の上に釣場駅つくつたら
どないや

——他に、何か面白い提案はないですか？

高橋 面白いこというて、原口市長がやつてゐることは面白いね。

春山 こまかいところでなんや面白いことやつてゐるらしいですなえ

高橋 しかし、よその港も見たけど神戸は何かしらムードを持つてゐる。これをもつと生かさなあかんねえ。ただそれをどんな風に生かせばええかなんてことを漫画家に聞いてもそれはむづかしいわなあ(笑)

——いや、そこをいつてもらわないと(笑)

春山 もっと荒唐無稽なことをいうたらええんや。

田中 できんようなことでもええ高橋 そうそう、そいで原口市長にできる思うてやつてくれいうたらええんや(笑)

——神戸に無いというモノノールですな。

春山 しかし計画のうちに入つてゐるでしょう。

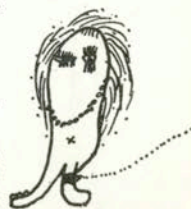
田中 環状線にすれば良いのと違う。三宮を出て六甲、有馬、須磨を通つて三宮へ帰つて来るような。春山 そんなのが出来たら良いですなえ、三宮を出発して六甲山で遊んで、有馬温泉で一泊して、須磨へ行ってねえ。なんやつたら、海の上を走らせて三宮へ帰つて来てもええ。それから海の中へ釣場駅いいうのを作るわけや。

高橋 そんなアホな。いうて原口市長がいわれるな。だいたい、漫画家にいわたらこんなことになつてしまう(笑)

——今日は、いろいろと面白いお話をありがとうございました。

(於・竹葉亭)

びんく・
こおなあ



「カサノバ・コース」というても、まだ日本ではカサノバに縁のない向きも多いことでしょうし、それに舶来に弱いとしらされるかもしれない。そこで国産をさがしてみると、あった、あった。「昔男ありけり」で有名な在原の業平さんだ。いうなれば「伊勢物語コース」です。

ところが、平安時代のことだから、旅行らしい旅行もしてない。川柳にいうように「五畿内をしつくし東下りなり」という程度でしょう。「五畿内」というのは山城、大和、河内、和泉、摂津の五つの国のこと。今の府県名になおすと、京都、奈良、大阪、兵庫にわたっています。旅行としてはものたりないかもしれないが、しつくした、というのだから、そのしつくした跡を克明にたどってみるのおもしろいかもしれません。たとえば「堀の破れから来なよと后い」というのは二条の后との情事ですが、これもどっかの堀の破れを見つけたら、これが業平のくぐった穴かと思えばよろしい。

ところで「伊勢物語」を江戸時代に再現させ、宮廷育ちの業平を市井につれだして活躍させているのが「真実伊勢物語」ですが、こども「現代のカサノバ」同様、ときどき業平をインポテンツにしているところがおもしろい。男子は文化とともにしほむか。(T)

さんちかタウンの一角に
オープンした

(UCウエシマコーヒーショップ)



フロアゼンたいを

ラウンジ風にまとめ

赤とアイボリーホワイトが

心ニクイほどマッチした

しよしやなティールームです

本場コーヒーの高い香りが流れる

UC C上島珈琲本社直営のお店です

ブロムナードコーベ

ショッピングコーベを

愛してくださるあなたなら

ちよつとイキな神戸っ子なら

ぜひお立ち寄りください

UCコーヒーショップ

若い人の間で

静かな人気を呼んでいます

UCウエシマコーヒーショップ

(さんちかメンスタウン)

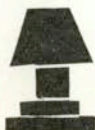
三九一五六七七

上島珈琲本社

(神戸駅前) 三四一三六〇六

レストラン
フラル キタノ

TEL. 23-2251



S.I.



しゃれたムードのグリル

*毎日メニューの替る
ビジネスランチ

- A ¥200
- B ¥300
- C ¥500



GRILL
COFFEE

スリースリー

TEL. 331070-1



大丸南角浜通り
(住友生命ビル地階)



マンガ特集 ③ アンケート

◆ 質問

①あなたが「神戸」にお越しになったり住んでおられたのはいつごろでしょう。

それはどのあたりにお越しになり、また何年ほどお住いでしたか。

②その頃の「神戸」で一番思い出深いこと、場所は……また「神戸」の好きな理由は？

③最近「神戸」へお越しになりましたか。まず最初に何処へゆかれましたか（あればその理由）

④神戸にいらっしやる善友悪友の「交遊録」を……

⑤「神戸」の印象で、あなたにとっておきのエピソードは……

◆ サトウサンペイ

金があったら神戸に住みたい。山の中腹の白い洋館に住んで青い海を眺めながら、ガラガラ坂をおりてゆくとき、私はバツタリ、目の大きな栗色の肌をした美少女に会うのだ。（笑しい人妻でもよいが……）

そんなことを空想させる神戸はきっと日本一ロマンチックな街であろう。

知人は多く、大丸の長谷川六郎、近藤、佐藤金ちゃん、神戸銀行の玉奥章、浜岡叔、漫画家の春山正、森本哲夫の各氏その他いっぱいというところ。

加えて肉と酒がある。いうことなし。

◆ 榎本 映一

①主として訪れるのは毎年盛夏で、旧盆「阿波おどり」には郷里の墓参に帰省する途上に必ず元町通りその他を散歩することをかかれています。

②伊川新聞地へ、当時知人の往年のストリップ吹マリーが益田喜頼らと特別出演の劇場の名は忘れたが、楽屋訪問したことは思い出深い。ヨコハマのように国際的ムードいっぱいである楽しい街だ。大阪の面友が神戸牛のすき

焼きをご馳走してくれ、その美味しさを知ったのも湊川だった。

③三宮地下街が完成の由、新聞で散見いずれせヒと思っています。

④キャバレー・新世紀、の宣伝部長をしていた根尾一朗。

親戚の娘さんが神戸の短大を卒業して、栄養士として就職していたので、三宮周辺の食べ歩き案内役をかってくれた助かったのだが、彼女、会社を辞めて花嫁修業のため四国へ帰ったので、お茶を飲んでもホロニガくて味気ない。

◆ 佐次次かし

小生、神戸には一度も訪れたことがありません。ぜひ一度たずねたいところと思いついてまだそのチャンスにめぐまれませんで。周辺はとんどの地方には足をのばしましたがどういうわけか、すばらしい土地と何いつつ一度も機会にめぐまれませんで。近いうちに必ず訪れたいと思っております。

◆ 清水 寛

①本年六月三日、神戸公明選挙会の依頼により、国際会館で講演を二時間やりました。

②その折、須磨の浦公園の観光ハウスで、ピルをのみなながら海を眺めること三時間。快晴の日で、珍しくのんびりしました。もたら私は神戸の「ゆるやかな澄んだ落着き」が好きです。

◆ 佐々木保司

①住んだことはありません。住みたいと思いますがそういうチャンスがありませんので。

③この頃は行きませんが結婚前デイトによく行きました。大変よかったです。かなりたかくもつきました。一時、くつを買ったのは神戸に決まっていた時もありました。

④現在東京にいますが、サントリー宣伝部の同僚であるコピライターの藤本義一氏に、神戸のいいバーをハシゴで案内してもらったことがあります。これがまたとゆかいでした。

⑤神戸のおかげで心がすきになりました。また、東京の肉は大変まずいので、これまで東京転動の話がかなりありましたが、ずい、とことわりつけました。ですからあまり出世しないと思います。でもいいです。

◆ 佃 公彦

私は神戸に住んだことはなく、行ったことも、旅行の途中で立寄って一泊したぐらい。

◆ 宮尾しげを

①神戸に住んだことはないが、旅で滞在したことあり。また六甲山のホテルに戦争中、町なかの宿には戦争前と戦後と38年・39年と滞在。これは住んだ中に入るや否や？

②まだ、港の栄えた時分で、ヨコハマの様な気分が味わえたこと。開港地としての面白さ山の上からの海の景色がよい。

③最近の神戸は他の国が神戸に似てきて、本家の面影ウツクたって平凡。熊内の池永氏の美術展。

④只今なし⑤宿屋のサービスの悪いこと。中華料理がまずくなった。もう一つ、神戸内の紙のような切り方。それにまづい（切つておくから）。

◆ おおばは品司

実は恥ずかしいことながら、神戸は空の上からしかノゾいていませんので、ご質問には、冷汗が出る仕度です。お許し下さい。神戸がきらいではないのです。きつと、行つたらもうトリコになる街のような気がします。つまり安い旅費で海外旅行の地と思ふからです。あれこれとタノシイ話をききます。近いうちにノゾくつもりです。そのおりはぜひ、神戸っ子、のために拙筆を振ります。

◆ 古田久三郎

①私の神戸の思い出としては、昭和14年の今頃のことだっと思います。当時、初年兵の兵隊時代に遺骨を受けに神戸港に出かけました。私が戦友の遺骨をだいて船のタラップを降りてくると、目にしみるような清潔で美しい緑色の特と白タビの吉カの子供達とが岸壁に並んでいて、それが印象的でした。

任務を終えて、街のデパートのレコード売り場にて一人でボツンとなっていた、楽しい神戸っ子の売場の店員さんの親切が、いまだに神戸をステキな街として印象に残っています。

◆ 金銀堅太郎

昭和13年の学生時代に旅行した際、神戸に立ちよって夜飯を味わっただけです。

◆ 桂 たる

①残念ながら神戸は旅行の途次立ちよった事はありません。

②戦争前だったので近頃は知りませんが、私の故郷長崎市とよく環境が似ているので懐しい気もします。又、旧関西学院の近くにあったバー・翰林院（アカデミー）で洋酒をのみましたが、静かな所で懐しい出が残っています。

③最近、行ったことはありません。

④非常に明るいという印象を受けました。また若い人の服装などもスマートであった様に思います。

◆ 赤根青鬼・赤鬼

神戸に住んだことも行ったこともありません。機会があれば一度行ってみたいのです。

◆ 塩田 英二郎

神戸は大好きなのですが、まだ一度も何っていません。ぜひ近くお邪魔したいと思っています。



★神戸を楽しむ私のコース⑮

神戸の街を、山を

歩こうコース

増淵陽二
川崎製鉄葺合工場電機部

マイカー族がふえ文明都市の文人化達がだんだんと歩くことから遠ざかりつつあるこの頃、一日一万歩運動が起っているのは結構なことだと思う。一歩五〇センチとして五キロ、私は一日に十二キロ(二万四千歩)は歩いている。

また週に二回神戸のド真中を歩く。それは会社の帰り三宮、そこから前からセンター街、そしてトアロードを南に下り市電筋を西にとり、元町本通りに入って三丁目でポルトタワー目指して南下し市電に乗るまでのコースである。まったく気ままにユックリ歩いたり、急いで通ったりして店を眺め、またはのぞき、ゆきかよう人とすれ違うのが楽しみであり、いくつか習慣となって、私の街の考現学になる訳である。

また週に一回芦屋のタウンホールへ踊りを教える日があり、その時間までまがあるのです。その日はコースを短縮して歩く。そんな時レコード屋巡りをしたりする。

時には二百九十円の西陣織ネクタイをあさったり、益子焼を買ったりする。カメラ屋と本屋も必ずのぞいてみる。流行は業者がつくとみえワインカラーとなるとど

こにでも飾ってある。週に少くとも二回通るから自然陳列の変化や催しは目につきUターンして店に吸いこまれることがある。

民芸店をのぞく時などは胸がワクワクする楽しさがあり、思い出がこみあがつたりする。靴屋でベロア作りをみつけ、早速買いこんで初物食いと笑われたりうれしがりやなのかも知れない。

一人で服する時はエビアンでコーヒを飲み、二、三人連れやレディと一緒に時はパウリスタと決めている。

さんちかができたので地下にもぐることもあるが梅田よりズツとよい。地下からでるとスタイル・ビルとアンコールショップをみるがこの辺は私達のドリームタウンにしたい。もっとも梅田のようにもうからないとて権利の転売で代が変るようになるのも困るけれども……。

日曜にはたいてい神鉄沿線か山陽沿線の野山を歩いている。一人で行く時は必ずカメラを持ち、ユースホステルグループの時はなるべくカメラを持たずに行く。そこには自然の季節の移り変りがあり、日本の風景がある。外国で育って船員(無線屋)だった私は日

本の植物に弱い。ところがこの沿線には二月から十月頃までいろいろの植物の花が咲き実を結び美しい葉の変化があり自然の風物をみせかつ教えてくれる。足元には雪割草、ツクシ、香り高いシユンランが春を告げ、レンゲ草は初夏まで咲いているし、すぐ目につくものに藪椿、コブシ、山桜、ツツジ、ヤマボウシ、エゴノキ、藤、葛などの花があり、さまざまの草木が私を野山に招く。

バス道から離れドンドン奥深い小径を進んでゆくと突然朽ちた寺や神社に行き当ることがある。われと来し鐘無き寺に秋の風神戸は本当に何もかも恵まれた土地柄だ。テレビばかりみていないで草木のある外へ出て歩こう。





高級紳士服

山名洋服店

神戸三宮生田筋 ㊟ 5797

さんちカレディス タウン

プリンス

TEL ㊟ 2855



コスチューム
アクセサリーの店

芸 げい 夢

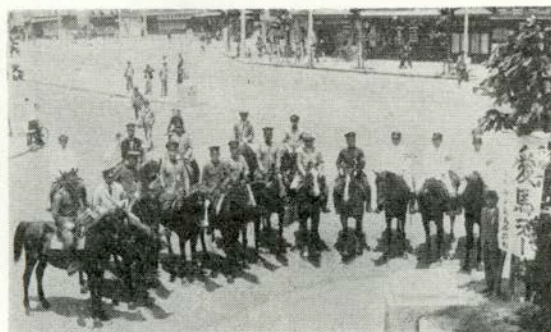
神戸店 / トアロード ㊟ 8643 2293

大阪店 / 心斎橋ロビー (211) 5153 1044

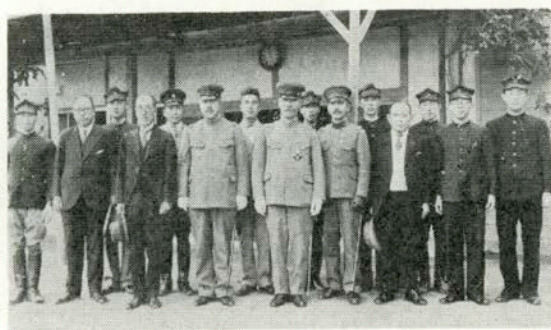
心斎橋名店街(小大丸ビル) 211 8503

神戸遊戯誌

27



昭和9年6月1日受馬デー宣伝騎乗隊 滝道にて



昭和3年3月15日 鈴木荘六大将をむかえて

馬 術 ①
青 木 重 雄

ゴルフはもちろんのこと、テニスもヨットも神戸は全国が発祥地だが、まだもう一つ馬術がある。大正四年に灘区青谷町にできて、今日までつづいている神戸乗馬倶楽部(社団法人)こそ全国初の乗馬クラブである。東京乗馬倶楽部(代々木)も大阪愛馬会も後からできたものだった。初代会長は宮部末高合名会社々長の末高興次郎氏(以下敬称略)だったが、会員はその当時二十名ばかりで国際都市らしく汽船会社や貿易商関係の人々が多かった。目的はレクリエーションの紳士交際、スポーツの三つで、教官は軍人だった。

現在の同クラブ(現在は倶楽部がクラブに変えられている)の佐用仙治副会長の話によると、同氏が入会した大正十二年ごろの会費は、自馬(じば)自分の所属馬の飼育料をこめて月額百円だったというから、大学出の相当な高給サラリーマンでもとうてい足もとに寄れない

費用だった。今日でも月額会費は五千円、飼育料が二万円、そのうえ行軍や遠乗りの場合、馬を運ぶ馬運車や六頭乗せるトラック(昔は鉄道貨車を使用)の輸送費や馬丁費などを合わせると年間六十万円にもなるから、ゴルフよりも高くつくわけだ。もっとも借り馬だと安くなるが、それでも三万円以下にはならない。だが、その後会員はしだいにふえて、大正末には四十人以上になっていた。県下のクラブもふえて、徳井(阪神国道浜側)の灘馬術研究会と甲子園乗馬倶楽部ができたが、どちらも終戦前後になくなった。

神戸乗馬クラブの現在の会員数は一般内外人と学生を合わせて約八十名だが、戦前派は七十四歳の和田完二会長(前丸善石油社長)はじめ佐用副会長、瀬戸口仁郎(築港工業社長)松村善蔵(松村石油社長)同喜八郎(喜次郎の令息)川田力(美術商主)佐藤瞬一郎(貿易

商)佐田徳一(佐田建設社長)田中定次郎(元会社役員)などの五十歳以上の約十人で、みんな学生時代からやっていた人たちばかりである。なかでも、佐用は京都薬専時代に明治神宮大会に出場して大障害に入賞するなど大いに活躍したし、和田は丸善石油上海支店長時代、現地でも乗馬場を作って乗り回した。会員外では、昭和七年のベルリンのオリンピックの馬術競技の優勝者西中尉がその当時同クラブをちょいちょい訪れて妙技をみせたり、オリンピック第二位の遊佐公平も青谷へよくコーチにきたものだった。また、これは同倶楽部の人ではないが、馬術の名人といえば、戦時中灘馬術研究会の教官をしていた高岡巖で、あらゆる高等馬術のできる「馬の曲芸師」とまでいわれたが、手綱(たずな)の代わりに絹糸一本を馬の口に(口もとにだけゴムを使い)くくりつけて大障害でも飛び越えたもので、全く神技と呼べるわざだった。

もう一人の熱心な会員川田力は、従来からだが弱かったのを氣にして大阪の今里乗馬クラブに入会していたが、四年ごろから自分の勤めている大丸百貨店で馬術部を作ったところ、たちまち会員が三十名にもなる盛況ぶりだった。十一年神戸の大丸へ転任してきてからは、もっぱら明石の大久保乗馬倶楽部で腕を磨くとともに神戸大丸にも馬術部を作ったが、戦後の二十三年に神戸乗馬倶楽部の会員となったが、(なお、大阪、神戸大丸の馬術部は終戦で解散)戦前は遠乗りがひんばんに行なわれ川田らのグループは十人ぐらいて今里から六甲越えして有馬で一泊、帰ると同じコースを通過して大阪へ帰ったものだが、当時は六甲山にはドライブウェイがまだできておらず、全くの山道の往復だった。佐用らの一隊も時折り神戸から宝塚へ、さらに有馬へ、一泊後広田神社へ出て再び神戸への遠乗りを試みたものだった。そのころは今日のように自動車の往来が激しくなく、馬上ゆたかに、ヒズメの音も軽く、悠然とムチを揚げての快適な行進だった。

さて、昭和十五年に佐用は平野の祇園さんの裏東(現在は自動車の教習所になっている)に神戸馬術部を自費で作って二十頭の馬を置いていたが、うち十五頭は軍馬の払い下げで、残りの五頭は、当時の岸田知事から許可をとって相生、兵庫、葦合などの神戸市の五警察署の持ち馬各一頭を預っていたものだが、警察では当時エサ代が高くつくというので佐用に預けるのをむしろ喜んでいった。だが、大戦がぼつ発するや、どしどしと持ち馬が徴発され始めた。戦争が激しくなると、ついに同氏は県警から頼まれて治安維持に協力するため「県警備通信騎馬隊長」といういかめしい肩書をもって活躍した。とくに二十年三月のB29編隊による神戸大空襲の時は、燃えさかる町中を寝食を忘れて警察の騎馬隊といっしょに駆けずり回ったことだった。戦後になって自動車の数が乏しいため治安維持はさらに重要な仕事となったが、絶えず警察に協力、ある時など、三宮のヤミ市で日本人と第三国人との大げんかがはじまった、という報をきいて、騎馬警官十名といっしょに現場に駆けつけるという一幕もあった。振り返ってみると、全くこの人は終戦前後に「馬の功労者」として県から表彰されてよいだけの仕事を十分に果たしていたことがわかる。

戦前はブルジョアの遊戯として一般大衆からとかく白眼視されていたゴルフほどには、非難の対象にはされていなかったが、それでも「あれはエシ(よい身分の者)のすることや」と大衆から別世界のスポーツとして祭り上げられていた馬術だったが、いったん非常時となると、このような思いがけない社会的はたらきと手柄をたてたのも、今から思えば、同クラブの歴史の貴重な一ページを飾る思い出に違いない。

(四〇年・十・二十一)

神戸うまいもん巡礼

No. 38

赤尾 兜子



写真上は銀水のコロケトリコロール
写真下はカボネの中華麺とみそそば

三宮地下街の巻

とうとう神戸にも地下街ができた。山と海の二つをひとりにめするこの珍しい街にも。その名を「さんちかタウン」というのだそうである。別段、食事をするのにまで地下にもぐることはいらないであろうが、私は、誕生して、ほどなく歩いてみたらひどい混雑なのに驚いた。二、三の店をのぞいて客がぎっしりたてこんでいる。昔からハイカラで、斬新なものにとびつく神戸人の気質のせいかな、どうかは知らないし、またこの混雑がいつまでつづくか、それも私のかかわり知らぬことである。

ともかく、なるだけ時間を節約、夏の涼感と冬の暖房を求めて、この地下で食事をする人もかなりあろうからそんな人たちのためにいささか店をあげておきたい。

そのひとつは「銀水」である。本店は国鉄三宮駅地下秀味街にある。もともとは、大丸東の興銀ビルの下にあった。二十五年にそこの食糧品部から転じた樽谷豊さんが社長になり、今日にいたっているが、樽谷さんは厨房はやらない。腕ききで熱心なチーフコックを擁している。こんどの店は、いぜん興銀ビルの地下にあったころの店のフンイキを再現するために、壁面に大理石の原石をはめこみ、それから水滴をたらし、ウインドにステンレス製の前衛彫刻ふうの装飾をとりつけて、そこにも水を流し、これで噴水の感じを表現しようというねらいらしい。

そういつてしまうと、いかにも豪華調で、高級レストランと思われがちだが、実はそうでもない。カレーライス（一五〇円）からある。老人、学生、子供、それに外人と客層はおよそ広いが、たぶんそれは各層にあったメニューがあるせいであろう。

コース料理でなく、一品主義、メニューの数を多くしているのも、いかにも地下街の店らしい。総体に濃い目の味つけ。

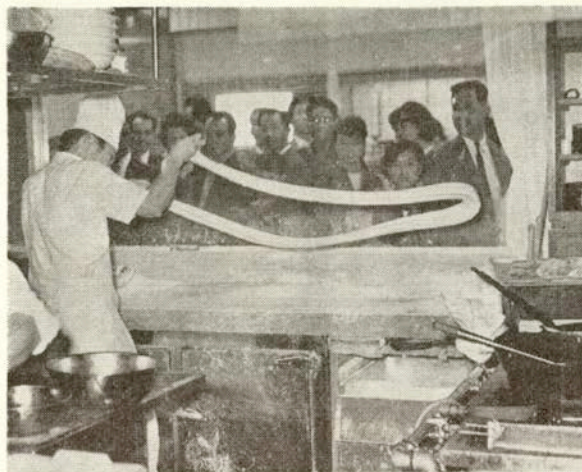
そのなかで、私はコロケトリコロール（トリ、肉、エビの三つのコロケに野菜の盛合せ、コロケといっても馬鈴薯だけでなく、ホワイトソースをまぜて揚げている。三〇〇円）コスモ風スパゲッティ（二五〇円）値が安い分だけ割引きするとして、ブイヤーズ（二五〇円）そして若者向には、スタミナスステーキ（六〇〇円）を採る。スタミナスステーキは、ヘル肉にニンニクをきざみこんだ油にひたした上、さらに五個ばかりニンニク球をそえて、網焼、鉄板焼併用のスタイルで焼きあげ、そ

肉の上に細切りのニンジン、ソーセージをのせているとかくニンニクが鼻をつくものだが、その調理がうまく施してあってにおわない。野菜をたっぷり、盛つけも入念であった。

電子レンジを使わないで押し通しているのも、この店のひとつの良心といっているだろう。三十七脚、制約された店のスペースなのでテーブルが小さいが、それだけは、地下というハンディで、しんぼうするほかない。

もう一店の異色は「カボネ」である。これも本店は阪急三宮駅西口上ルにある。

「カボネ」はアメリカ・ギャングのボスであったアル・カポネがイタリア人で、スパゲッティが好物だったところからイタリア料理店の店名として取った。そしてたしかに、イタリア名物のスパゲッティ各種（ミート・ソース、ミート・ボールなど各二〇〇円）があり、炒めるのにサラダ油でなく、オリーブ油を使っている。若人や軽食ずきには評判のようである。しかし私は、この店の



（上）写真は豪快な手打ちそばのサバキをみせる「カボネ」の店内

手打ち中華麺（そば）のユニークさを推したい。日本の

そばの手打ちはさして珍らしくないが、中華麺はたぶん日本でも異色であろう。経営者の峰洋一君（三八）は、しろうとから料理店に手を染めて約十年、なかなかのアイデア・マンなので、つぎつぎに新趣向の店を出した。

この店もそのひとつで、店の装飾には、新鋭書家の村上翔雲君に頼んで壁面いっぱい墨象を描かせているが、店へ入ると、それがパツと目にとびこみ、誰でも「変わった店だな」と思う。表のウインドの前では、外を歩く客にも見えるように、三人の若いコックが交代で、棒麵を左右上下にふりまわして、バンバン打っている。勇ましい。たちまち手品のように細い麵にしてしまう。その中華麵（一〇〇円）信州みそで味つけたみそそば（一五〇円）だけは鶏のガラ、味つけはあっさり気味、麵は手で打っているだけに、妙にねばりがある。そのコックが舌に感じられる。ついでに手打ち中華麵の専門店、「馬賊」（阪急三宮駅西口上ル）も、同経営で、同じ麵の作り方をしている。



（下）写真は豪華なフニイキで一品料理の多い「銀水」

紳士入門 (32)

How to be a gentleman

評論家紳士

文・竹田洋太郎
え・石阪春生

「一億総評論家時代」という言葉がある。あなたも私も評論家である。なにを評論するのか考えて見る必要はない。すべての日本国民は眼前の事象に対し評論せずんばやまずという時代なのである。だからまず、あなたが現代人であるならば、目の前にあるそのものから評論を始めるべきであろう。

たとえば、私の知人に「ライター評論家」がいる。ライターといっても字を書く人ではなく、タバコに火をつける道具を指すわけだが、かれは、ライターをつける人が、自分から五メートル離れていても、それがどのメーカーのものであるかがわかるという。そして、デュポンのライターはどことが特徴か、ダンヒルはイギリス製やスイス製があるが、それはどことがうか、もうもろある国産ライターのそれぞれはどことが弱点か、といったことについて、こちらが、タバコに火をつけようという時期に現われて、評論してくれるのである。そのうえ、そろそろ発火石がチビているから新しいのと代えろなどと、提案することを忘れない。

一億総評論家という以上、年齢にも差別はないのであって、やはり筆者の知人である四歳の男性は、テレビ等に現われるマンガの続きもの、とくに国産のものについてくわしく評論してくれる。スーパージェットとパピールと鉄腕アトムは、それぞれ性能がどちらがうか、などについて堂々たる意見を開陳する。

一部には、内容的には決して新しくない。恐らく人類はじまって以来行なわれてきた評論の伝統を受け継いでいる人もいる。たとえば耳の形がこうなっているのは、あそこがどうかとか、ああいいう声の人はどうかとかい

のであるが、これはライターのように実際使って見たわけではないだろうから、筆者は信用しないことにしている。

しかし、ここで紳士である限りは、評論の対象及び表現には、やはりしかるべき原則がなければならない。それはどうすればよいか。

まず紳士の評論は簡潔でなければならない。たとえば服装について多くの知識を持っていることをひけらかせつつ、現在目の前にある女性の服装について云々するのは、キザというものであって紳士ではない。紳士は一言もってこれを行えば足る。たとえば、丸く肥った女性が大柄な花模様のドレスを着用している場合「あなたの体にはこのようなシルエットの出る、こんなカットの方がいい」とかいふべきではない。ただ一言「市役所の北側みたいやな」でいいのである。そこで相手の女性が花時計を思い出そうと、出そうまいとこちらは知らんのである。このように簡潔でなければならないが、明瞭である必要はない。紳士の評論はかえって不明瞭である方がよろしい。

評論の対象という点になると、現今の社会は評論欲をそそるものにみちているが、決して下らぬもの、たとえば政治、経済、国際問題等に心を動かされてはならない。また評論家本人しか知ることのできないものや評論家自身はどういうふうな資料を収集したかについて必要以上の想像をいだかしめるものは避けなければならない。

たとえば、国鉄の各駅にある便所、とくに大便所の型式や掃除の状態、落書きの内容などは極めて興味をそそる評論の対象ではあるが、それを調査しておる際の評論

和風
ごうすい
一五〇円

餅入ごうすい
洋風鍋焼うどん
洋風ごうすい

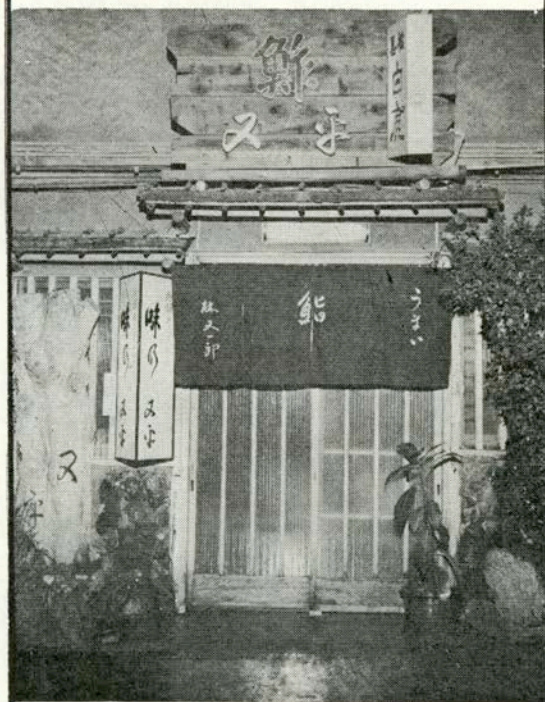


Grill 喫茶



元町通 3 丁目 本高砂屋 2 階 TEL ③37368

神戸っ子の味覚に
ぴったり、又平の早馴れ鮓



神戸三宮生田ノ社ノ西

鮓の又平

電話・三の宮 ③3 0935